

グレープフルーツジュース と 薬

グレープフルーツジュースと一部のお薬との飲み合わせがある事はご存じの方も多くおられると思います。今号ではグレープフルーツと薬に関する質問を集めてみました。

Q: グレープフルーツジュースと飲み合わせがある薬はどんな薬があ

A: 血圧、心臓の薬では、代表的なもので、ニフェジピン(アダラートL、コリネール)塩酸ニカルジピン(ニコデール)塩酸マニジピン(カルスロット)アゼルニジピン(カルブロック)塩酸ペニジピン(コニール)塩酸ペラパミル(ワソラン)、高脂血症の薬では、アルトプラバスタチン(リピトール)シンバスタチン(リポバス)その他、テグレトール、シロスタゾール(シロステート)等です。

Q: グレープフルーツの果肉なら大丈夫

A: 体の中でお薬が分解されるのを邪魔する成分(フラノクマリン類)は、グレープフルーツの果肉、房、果皮、種子に含まれています。ジュースだけでなく果肉も気をつけましょう。

Q: お薬と時間をずらして食べれば大丈夫

A: グレープフルーツの影響は、量や回数にもよりますが、長い時間影響が続きます。2~3日影響が続くという報告もあります。グレープフルーツの影響があるといわれている薬で治療中の方は、グレープフルーツは控えたほうが良いでしょう。

Q: グレープフルーツの他の柑橘類は大丈夫?

A: みかん、オレンジ、レモン、スイートオレンジなどは安全と考えられています。他の柑橘類では、晩白柚、高岡文旦、ライム、ビターオレンジ(セヴィリア)、ポメロ(ザボン)、スウィーティ、ミカンとグレープフルーツを交配したタンジェロスなどはグレープフルーツと同じ作用があるとされてます。

